

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2011-505854(P2011-505854A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538608(P2010-538608)

【国際特許分類】

C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 P	17/10	(2006.01)
C 1 2 P	13/02	(2006.01)
C 1 2 P	13/04	(2006.01)
C 1 2 P	7/62	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	1/21	Z N A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 P	17/10	
C 1 2 P	13/02	
C 1 2 P	13/04	
C 1 2 P	7/62	

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月1日(2011.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

酵素E<sub>III</sub>は、クロモバクテリウム・ビオラセウムDSM30191由来の-L-トランスアミナーゼCV2025である、請求項2から6までのいずれか1項に記載の細胞。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

細胞内では、-L-アミノカルボン酸エステルを相応する-L-アミノカルボン酸にする反応を触媒する酵素E<sub>IV</sub>の発現が増大されている、請求項1から7までのいずれか1項に記載の細胞。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

細胞内では、-アミノカルボン酸を相応するラクタムにする反応を触媒する酵素E<sub>V</sub>の発現が増大されている、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に記載の細胞。